

## 新着情報

●専願入試の出願条件に変更あり

## 入試結果

●受検者数・合格者数・入学者数・各受験科目の平均点等は非公表

## 2022年度募集要項

○専願入試(※出願条件あり、募集要項参照のこと)

### ◆【募集人員】40名

<試験日> 2021年12月12日(日)  
<合格発表> 2021年12月15日(水)  
<試験科目> 国語・算数・面接  
<時間> 各30分(国語・算数)  
<配点> 各100点

## 学校情報

### ●Point1 中高一貫校はここが魅力

□中高6カ年は山あり谷あり。心身の発達も個人差が最も大きくなり、思春期がやってきます。同時に知的好奇心が開花する、人生で最も大切な時期となります。本校は60年間、一貫教育だからこそできる教育を打ち立て、実践してきました。学習生活 両面で、教育活動の隅々に本校ならではの工夫があります。特に「楽学」による仲間づくりで先を行きます。

### ●Point2 タブレットが授業を進化させる

□アクティブラーニングによって生徒の主体的協動的な学びが、昨今飛躍的に深まっています。授業はさらに、探究学習を前提に展開されるまでに進化してきましたが、こうした中、授業支援ツールとしてのタブレットの役割は見逃せません。家庭での予復習を無理なくサポートできるのもタブレットの大きな魅力です。入学時から個人用タブレットを所持させます。

### ●「仲間づくり」と「志」の教育を推進

□付属中学校は、戦前の旧制高水中学校時代に培われた自由闊達・公平を尊ぶ校風を受け継ぎ、「仲間づくり」をモットーに、生徒同士の切磋琢磨と師弟親愛による人づくりを実践してきました。  
□そして今社会は、グローバル化やAI化、少子高齢化によって劇的に変わろうとしています。  
□変化の激しい時代を生き抜くためには、生徒の「志(こころざし)」を育むことが何よりも重要なことです。  
□自分の好きな分野で他人をしあわせにしたいと願い、それを実現しようとする意志、すなわち「志」こそ、ひとをひと足らしめる決定的な能力です。  
□わが校ではこの「志」を、「中高6カ年一貫教育」というスパンで、「校外学習」の活性化という方法によって生徒の経験値を高め、課題を発見する力を養い、発見した課題を「探究学習」というプロセスを体験させることで、深く大きく育んでいきます。

### ●課題研究プログラムによる探究活動

□6カ年にわたる課題研究プログラムを設定し、前期は学年別テーマ、後期はSDGs持続可能な開発目標)を共通テーマとして、協働学習に取り組みさせています。  
□後期については、中学では学年の枠を超えたゼミ班を、高校では2学年にまたがるグループを構成し、課題を見つけ 解決の筋道を探るという手法で 探究学習を展開します。  
□プログラムのまとめとして、年度末に中六合同発表会を開き、成果を皆で共有します。

6カ年にわたる課題研究 プログラム

	前期(学年別テーマ)		後期(探究学習)	2月
中学1年	楽学の源流	高水訪問	学園発祥の地を探索	中六合同発表会
中学1年	歴史と伝統	郷土学習	岩国の史跡めぐり	
中学1年	戦争と平和	平和学習	回転記念館等訪問	
高校1年	多様性社会	学校交流	海外修学旅行	
高校2年	地域と情報	社会貢献	少子高齢化とグローバル化	
高校3年	社会と自己	進路探究	持続可能な仕事と志	

○一般入試

### ◆【募集人員】30名

<試験日> 2022年1月9日(日)  
<合格発表> 2022年1月15日(土)  
<試験科目> 国語・算数・理科・社会、及び面接  
<時間> 50分・50分・30分・30分  
<配点> 100点・100点・50点・50点

### ●「ユネスコスクール」認定校

□2012年に「ユネスコスクール」認定を受け、校外学習も積極的に取り入れながら生徒の自立心、判断力、責任感などの人間性を育み、平和や環境、国際理解の教育実践に取り組み、着実に成果を上げている。

### ●「ユネスコスクール高水」最近の実績

□全日本高校模擬国連大会2007度から13回選抜出場  
□国際理解・協力の高校生主張コンクール2010年度から連続11回全国大会選抜出場  
□国際理解・協力の全国中学生作文コンテスト特賞(ニューヨーク国連本部派遣)  
□ESD国際交流プログラムESD作文コンテスト合格(フランス・ドイツ研修)派遣(2013年度から連続2回)  
□北米地域との青少年交流カナダ(招聘と派遣)外務省事業引受実施(2013年度)  
□アジアユース人材育成プログラム(沖縄招聘)選抜参加(2014年度)  
□ユネスコスクール世界大会「Student(高校生)フォーラム」中国地域代表(2014年度)  
□高校生カンボジアスタディツアー(日本ユネスコ協会連盟主催)選抜参加(2016年度)  
□日中韓青年文化フェスティバル日本代表として中国・北京派遣(2018年度)  
□科学の甲子園ジュニア全国大会出場(2017年度から連続2回)  
□科学の甲子園全国大会出場(2017年度)

### ●海外姉妹校(親善交流校)

□カナダ・ポールケイン高校(アルバータ州)  
□オーストラリア・サザンクロスカトリックカレッジ(クイーンズランド州)  
※両校とそれぞれ隔年で短期交換留学を実施中  
□台湾・建成国民中学校(台北市)親善交流意向書交換

### ●奨学生制度について

□令和4年度において、兄姉が付属中学校または六年制普通科に在籍している場合、入学金のうち80,000円を給付します。

## クラブ活動

●体育系 サッカー部(男子・女子)／ソフトテニス部(男子・女子)／水泳部(男子・女子)  
●文化系 茶道部／英会話部／長唄三味線部／理科同好会

## 系列学校への進学

希望者は高水高等学校六年制普通科へ全員進学できる。

## 進路実績

【私国立高校編】高水高校に掲載。